	成果	課題
	1. 理容師・美容師国家試験の結果、理容科 91.7%	1. 今年度の本校の国家試験合格状況から、今後の課題を
	(全国平均 80.3%)、美容科も 96.5%(全国平均	見出し、全員合格を目標に指導していきたい。
	88.5%) と、全国平均より上回る結果となった。	2. 新型コロナウイルス感染症の対応も徐々に変化してい
サービス	2. 新型コロナウイルス感染者の拡大により学校行	くと思われるが、授業の性質上どうしても近距離にな
(教 育)	事の中止・内容の変更・時間短縮等を余儀なく	らざる負えない場合があるため、様々な場面による感
	された。一大イベントの仙理美祭を取りやめ、	染対策のルールを決めておく必要がある。
	個人作品発表に切り替えたが、校内技術コンテ	3. 感染症や自然災害、公共交通機関の影響などによる公
	ストは業界(後援会)から審査委員の協力をい	欠が増えることで学習不足が懸念されるため、状況に
	ただき実施することができた。	よりリモート授業で対応していくことも検討してい
	3. 極力リモート授業ではなく、対面授業にこだわ	きたい。
	ることで、学科・実技の学力向上に繋がった。	
	1. 教職員の処遇改善を追い風に、魅力ある職場づ	1. 教員資格認定講習の実施期間が約2週間のため、認定
	くりを教職員が一丸となって一層推進して行く	講習受講教員のいない間の授業調整をどうしていく
	ことができた。	かが常に課題となる。
労務管理	2. 教員資格認定講習等を受講し、受講教員が資格	
	を取得することができ、今後の教育効果に期待	
	大である。	
	1. 入学者に対して本校独自の奨学制度を設けて2	1. 理容・美容を目指す高校生の学校選択のポイントは何
	年目になるが、前年(137名)とほぼ同数の	か、本校を選ばない理由は何かリサーチし、思い切っ
	入学者(140名)が入学した。	た改革も視野に入れて考えていきたい。
経営	また、令和5年度入学の受験者数が101名	2. 入学生募集活動やオープンキャンパス等は新型コロナ
	となり、昨年より39名の減となる。	ウイルス感染症の影響も徐々に軽減されていくと思わ
	2. 今年度も、オープンキャンパスについては、午	れるので、体験型のオープンキャンパスを増やし、イン
	前・午後の2回に分け、また、内容や参加人数	スタグラムやSNS等の情報ツールの工夫をして、より
	を限定するなど感染症対策を講じながら工夫し	多くの高校生に参加してもらえる企画を立てていきた
	て実施することができた。	ν۰̈ο